

平成 23 年度 福井県立大学大学院
経済・経営学研究科博士前期課程
入学者選抜試験問題(第 1 次)
専門科目
経済政策・経済史・経営学各論・会計分野

以下の問 1 ~ 問 4 の中から 1 問を選んで解答しなさい。

問 1 (経済政策)

近年、中国人民元切り上げの圧力が高まっているが、「J カーブ効果」の理論を用いて、人民元切り上げが中国の国際収支に与える影響を論じなさい。

問 2 (経済史)

日本の産業組合の生成とその後の展開について、次の言葉の中から三つ以上用いて説明しなさい。

報徳社	産業組合法	反産業組合運動(反産運動)
金融恐慌	農山漁村経済更生運動	四種事業の兼営

問 3 (経営学各論)

以下の問題のうちいずれか一題を選び、解答せよ。

1. 今日の経営戦略において、環境との適合性でとくに大きな問題となることにはどのようなことがあるか。自らの知るところや考えを述べよ。
2. マーケティングでいうSTPとは、どのようなことが説明せよ、また、それは経営的にみてどのような意味があるかについてもふれることが望ましい。
3. 企業経営において人と組織のあり方はきわめて重要なことである。では、今日の企業をとりまく情勢の下で、人と組織のあり方には、どのようなことが要請されているか。より具体的には、組織成員にやる気を出させ、企業に成果をもたらすには何が必要か。また、企業側としては、実際にどのような方策をとっているか。これらについて、自らの知るところや考えを述べよ。

問 4 (会計)

原価主義、時価主義、低価主義を比較論評しなさい。できれば最近の日本の制度会計における時価主義導入の動向にも触れることが望ましい。